令和6年度 第3回匝瑳市社会教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 令和7年2月18日(火)
開会 午後2時26分 閉会 午後3時32分
- 2 場 所 野栄福祉センター 2階娯楽室
- 3 出席委員 矢澤敏和委員、石川浩之委員、依知川雅一委員、野仲哲二委員、
角田利和委員、橋口義範委員、伊藤敏江委員、江波戸八重子委員、
溝口澄子委員
- 4 出席職員
(事務局) 教育長 二村好美
生涯学習課長 畔蒜稔行
公民館長・図書館長 川口義夫
生涯学習室長 石毛英広
スポーツ振興班副主幹(統括) 伊藤芳雄
- 5 開 会
- 6 社会教育委員会会議議長あいさつ
- 7 教育長あいさつ
- 8 議 事
(1) 令和6年度匝瑳市生涯学習事業の実施状況(1月末現在)について
生涯学習関連事業 石毛室長、伊藤副主幹(統括)より説明。
公民館関連事業 川口館長より説明。
図書館関連事業 川口館長より説明。
(2) 令和7年度匝瑳市社会教育の基本方針(案)について
石毛室長より説明。
- 8 その他 ・第4回東総社会教育委員連絡協議会理事会の開催について
・男女共同参画講演会の開催について
- 9 閉 会 詳細は別添会議資料による。

【協議内容】

議事（1）匠瑳市生涯学習事業の実施状況（1月末現在）について

委員A： はじめてのスマホ教室の受講者は増えているが、はじめてのヨガ教室の受講者は減っている。理由がわかれば教えてほしい。

事務局： はじめてのスマホ教室はシルバー人材センターへチラシを配布してPRを行ったため、受講者が増えたと思われる。はじめてのヨガ教室は当初の参加者が多かったが、10数人の申込者がある中で回を重ねる毎に当日キャンセルが出たため、受講者が減った。

委員A： 資料を見た中で数字上の質問をした。今後も充実した公民館運営をお願いしたい。

議長： 「はじめての」と付く教室は、初めてでなければならないのか。継続して受講してもよいのか。初めての方を対象とした場合はかなりの人数になると思うが、いかがか。

事務局： 初めての方を対象とした教室ではある。引き続き2回目、3回目を受講したい方は初めてではないが、受講の受付をしている。教室名は来年度以降に検討していく。

委員A：「初歩からの」という講座もあるので、検討願いたい。

委員B： スマホ教室ではどのようなことをするのか。機種によって全く違うので、勉強にならないのではないか。

事務局： スマートフォンで写真を撮影しての検索や翻訳を行うカメラ検索機能、LINEの使い方の講習を行った。機種はソフトバンクである。auでは講師の派遣を行っていないため、ソフトバンクにお願いした。

委員B： 今後もソフトバンクで行うのか。

事務局： 今後もソフトバンクで予定している。

議長： 冒頭に資料7ページの「令和5年度」を「令和6年度」と訂正したが、令和6年度であるならば計と同じ数字になると思うので、令和5年度ではないのか。表記の仕方はどうにかならないか。委員の皆さんはどう思うか。

委員C： 議長からの説明を受けて、前年度1月までの比較という見方をすればよいと理解できた。紛らわしいと思う。

事務局： 冒頭に「令和5年度」を「令和6年度」に訂正したが、令和6年度の説明で前年度との比較を行っているので、訂正の必要はなく、令和5年度が正しい。

議長： 冒頭の訂正については、「令和5年度」のままでお願いします。

委員D： 男性向けの講座が全体的に少ないような気がするが。

議長： 誰が受講してもよいのではないか。

委員D： 男性が入っているものでは太極拳などがあるが、琴・ヨガ・エアロビクスなどはだいたい女性しかいない。講座の宣伝では男女問わずということなのか、女性限定なのかどうか。

事務局： エアロビクス・ヨガ・太極拳などは、婦人と書いてなければ、男女は問わない。八日市場ドームでは男性も参加している。PRの際には、男性の参加を大いに歓迎というような記載を検討したい。

議長： 他に御意見等がないようなので、以上で協議を終了する。

議事（2）令和7年度匝瑳市社会教育の基本方針（案）について

議長： 基本方針に記載されている立正大学との連携による生涯学習講座について、講座を受講後に修了証を交付されていたが、1回目だけの受講、2回目だけの受講、すべて受講のどの段階で交付されるのか。

事務局： 資料2ページにあるデリバリーカレッジを生涯学習講座に位置付けている。修了証の交付は行っていない。

議長： 以前に交付された記憶があるが。

事務局： 檀林大学を受講した方へは修了証を交付している。檀林大学で一度立正大学の先生を招いて大学の講座を行ったことがある。デリバリーカレッジは大学の講義を聴くというものである。

議長： 他に御意見等がないようなので、以上で協議を終了する。